

まろやかな味 去勢比内地鶏

あきたシャポン 販路じわり拡大

北秋田、大館両市で飼育している去勢比内地鶏「あきたシャポン」が販路を広げている。去勢した雄を長期飼育することで肉の脂肪分を増し、軟らかな肉質とまろやかな味わいを引き出した。昨年の出荷先は都内の1店舗だけだったが、今冬は県内外の3店舗で取り扱うことが決まっている。17日夜には北秋田市のカフェでPRに向けた試食会が開かれた。

シャボン(去勢鶏)は欧米で主にクリスマス時季に流通する高級鶏。あきたシャポンは、肉質が硬く大半がひなのうちに処分される比内地鶏の雄を去勢。飼育期間は7〜8カ月で、通常の雌(5〜6カ月)より長くじっくり飼うことで、より肉質を軟らかくした。配合飼料のほか、餌にコメと全粉乳を使用している。

比内地鶏の雄の有効活用に向け、県畜産試験場(大仙市)が去勢技術を確立。昨年からは北秋田、大館両市の農家4人が生産している。



市職員ら
電線を伝い移動するサル18日正午ごろ、能代市日吉町

内外に「品質の高さ魅力」 3店舗に

売を予定。出荷数は昨年のほぼ2倍の50〜60羽に上る見込みという。

試食会は販路開拓を支援した秋田銀行が北秋田市川井の「ふみきり野カフェ」で開いた。農家や秋田銀関係者ら約15人が参加。今冬、初めてあきたシャポンを取り扱う都内のフレンチレストラン「シャボン・ファン」のオーナーシェフ森田幸二さん(58)が腕を振るった。森田さんは「品質の高さが魅力。生産者の努力次第で特産化に

参加者は「肉質がしっとりしている」「うま味を強く感じる」など感想を述べ合った。生産農家の一人、杉沢渉さん(45)は北秋田市増沢に「従来廃棄していた雄を有効活用できる。長期飼育でコストは掛かるが、その分高値販売に期待したい。さらなる販路拡大を図りたい」と話した。(梅川正城)



試食会で振る舞われたあきたシャポンの料理

にわたって追跡、サルは出没地点から約1.5キロ離れた向能代方向へ逃げた。同署によると、午前10時ごろ、市役所近くの同市上町の

電線を伝い移動するサル18日正午ごろ、能代市日吉町

ろ、サルはグラウンドから民家の屋根や木を伝い、東側の同市富町の市民体育館屋根へ逃げた。ほかの市職員や能代署員も加勢し、10人ほどで監視。周辺では騒ぎを聞きつけた付近住民や通行人が集まり、様子を見守った。

サルはその後、電線を伝って東側の同市御指南町の日吉神社境内を横切り、近くの木の上で「一休み」。市職員が米代川の堤防に追いつき、最後は向能代方向に逃げた。

同市日吉町の会社員女性(36)は「中心部では見たことがない。驚いた」と話した。市環境衛生課は「被害がなくはまっている。その後サルを目撃情報はないが、発見した場合は近づかず、市や警察に連絡してほしい」と呼び掛けている。

市内では16日にも、浅内字浜浅内の民家敷地内でサルが目撃されている。(北嶋彩佳)

議会ファイル

◆大館市 18日、12月定例会の25日招集を告示。提出案件は14年度一般会計補正予算案など26件。20日の議会運営委員会では会期と日程を決める。

地域

- 【鹿角市】鹿角市「ツ教室」健康センター、午前10時から12時。いずみ(会費500円)
- 【鹿角市】「鹿角市」ツ教室、健康センター、午前10時から12時。いずみ(会費500円)
- 【大館市】スタノマラン、10時(予定)まで。参加費500円。りを含めて文化会館(706)
- 【能代市】「ふ」22〜24日午後5時、無料。
- 【秋田市】秋の半(24日)代エナジ
- 【鹿角市】ツ教室、健康センター、午前10時から12時。いずみ(会費500円)
- 【大館市】スタノマラン、10時(予定)まで。参加費500円。りを含めて文化会館(706)
- 【能代市】「ふ」22〜24日午後5時、無料。
- 【秋田市】秋の半(24日)代エナジ